

國學院大學學術情報リポジトリ

国語科教育におけるマンガ教材の価値

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-05-22 キーワード (Ja): 国語科教育, マンガ, 教科書, 教材価値, マルチモーダル・リテラシー キーワード (En): 作成者: 清野, 宏大 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001660

論 文 要 旨

学籍番号	233217	氏 名	清野 宏大
論文題目： 国語科教育におけるマンガ教材の価値			
(内容の要旨)			
<p>本研究は国語科教育におけるマンガの教材としての価値を追究するものである。</p> <p>国語科教育の領域では、これまでも新聞・広告・映画等といったメディアを活用した授業が行われており、音声言語や文字言語のみにとどまらない新たな教材の開発が図られてきた。その中でマンガという媒体に注目すると、2013年に日本マンガ学会にマンガ教育部会が設置されるなど、教育の領域において無視することのできない素材となっている。特に国語科教育においては、2010年代からマンガを用いた授業の実践報告がその数を伸ばしており、蓄積されてきた。</p> <p>一方で、国語科教育においてマンガを用いる際には、学習者の興味や関心を高めるといふ点や分かりやすいという点にばかり価値が見出されやすくなっているという課題が残されている。そのため、他の素材ではなく、なぜマンガを用いるのかという点については研究の余地があると稿者は捉えている。以上の背景を踏まえて追究する本研究は、以下の第一章から第三章までの構成によりまとめている。</p> <p>第一章では、現状の国語科教育におけるマンガの扱いや価値を確認すべく、主たる教材である教科書を対象に調査・分析を行う。</p> <p>第二章では、「月刊国語教育研究」、「CiNii Research」、「国立国会図書館サーチ」を中心にマンガを用いた授業の実践報告を調査・分析することで、国語科におけるマンガの教材としての価値について追究する。</p> <p>第三章では、第二章までの流れを受け、国語科教育における「マンガだからこその価値」について追究すべく、先行研究を踏まえたうえでマンガの教材としての価値を検討する。</p> <p>近年では、「マルチモーダル・リテラシー」という概念についても国語科教育の領域で検討されており、その流れの中でマンガの活用も図られつつある。様々な観点、用途から国語科におけるマンガの活用が検討される現在において、これまでの研究や実践を踏まえてマンガの教材としての価値を精査することには、今後の国語科におけるマンガの活用や研究のためにも一定の意義があるものと考えられる。</p> <p>本研究は、国語科教育におけるマンガ教材のさらなる発展を願い、教科書や実践報告、先行研究を踏まえたうえでマンガの教材としての価値を追究するものである。</p>			
キーワード (5 語)			
国語科教育、マンガ、教科書、教材価値、マルチモーダル・リテラシー			